

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	1 千葉県における河川環境整備の推進（重点）			
計画の期間	平成25年度～平成29年度	交付対象	千葉県	
計画の目標				

・水質汚濁の甚だしい印旛沼において、湖沼水質保全特別措置法に基づく湖沼水質保全計画等、関係法令との整合を図りながら、植生帯整備等による水質浄化、水循環健全化を図り、自然環境の保全再生により地域の活性化を推進する。

計画の成果目標（定量的指標）

・印旛沼においては、法定計画である第6期湖沼水質保全計画に従い、植生帯整備を図りCOD値の削減を図る。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)	
	年COD75%値を削減する	COD75%値：11	－	
植生帯の整備を進める	L=1.5km	－	L=2.7km	

全体事業費	合計 (A+B+C)	1,712百万円	A	1,712百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%
-------	---------------	----------	---	----------	---	------	---	------	---	------	---------------------------	------

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
整備計画担当課にて評価を実施。	令和7年3月 公表の方法 ホームページにて公表。

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H25	H26	H27	H28	H29			
A1	河川	一般	千葉県	直接	千葉県	印旛沼統合河川環境整備事業	植生帯整備(L=1.2km)	佐倉市、成田市、印西市						1,712		
小計（道路事業）												1,712				
B 関連社会資本整備事業																
（該当なし）																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考		

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
											合計	0				

番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考

D 社会資本整備円滑化地籍整備事																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
									H25	H26	H27	H28	H29			

番号	一体的に実施することにより期待される効果													

その他関連する事業																
事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	省略工種	率 （基本）	要素事業名	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		印旛沼の湖岸に植生帯を造成により、かつて印旛沼に生育していた水生植物を再生や水生植物による水質改善、生物の生息環境の創出などに寄与している。			
II 定量的指標の達成状況		最終目標値	9.7【COD75%値】	目標値と実績値 に差が出た要因	本事業を含め関連施策を進めたものの、植物プランクトンの増殖による内部生産が想定以上に進んだため。
		最終実績値	13【COD75%値】		
		最終目標値	L=2.7km	目標値と実績値 に差が出た要因	整備範囲や工法の選定にあたり、学識者や地元関係者等との調整に時間を要したため。
		最終実績値	L=2.0km		
		最終目標値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の 発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
本計画完了後も引き続き、社会資本整備総合交付金等により、計画的に事業を推進する。					